



AXIO series

ENGLISH

FRANÇAIS

ESPAÑOL

日本語

中文

AXIOシリーズへ、ようこそ

AXIOシリーズの腕時計をお買い上げいただき、ありがとうございます。

このシリーズは、特にアウトドア用に、軽量で操作が簡単な高度計をお探しのお客様向けに設計されています。

Axioシリーズは弊社の他の高度計でも利用できる機能を数多く備えていますが、機能が簡素化されているため、モードの多さや、複雑な設定に煩わされることなく、フル機能の高度計をお使いいただくことができます。

もちろん、街中でもお使いいただけるようにデザイン面についても配慮しています。

本マニュアルは、AXIOシリーズの3つの製品に対応しています。

AXIO mini (高度計および気圧計)

ケース寸法: 38.1 mm x 38.1 mm x 15.3 mm

ボタン寸法: 5 mm

液晶表示部寸法: 18 mm

重量: 2.0オンス / 57グラム

AXIO (高度計および気圧計)

ケース寸法: 44 mm x 44 mm x 15.3 mm

ボタン寸法: 5 mm

液晶表示部寸法: 23 mm

重量: 2.2オンス / 64グラム

AXIO max (高度計、気圧計、および、デジタルコンパス)

ケース寸法: 46 mm x 46 mm x 15.85 mm

ボタン寸法: 6 mm

液晶表示部寸法: 26 mm

重量: 2.5オンス / 71グラム

特長と仕様	4-5
警告と注意	6-7
AXIOシリーズのモード	8-9
各ボタンの機能	10-11
時間モードの設定	12-13
タイムゾーンの選択	12
時間モードの表示内容の変更	12
時間の設定	13
コンパスモード(AXIO Maxのみ)	14-16
コンパスモードの表示	14
コンパスの補正	15
偏差の設定	16
高度/温度/気圧	17-19
表示画面	17
表示単位	18
高度および気圧計測値の調整	19
今後12時間の天気予報	20
クロノグラフモード	21
データモード	22
アラームの説明	23-24
アラームの設定	25
バッテリーに関する情報と説明	26
トラブルシューティング	27

AXIOシリーズの特長

ガラス強化ナイロン製ケース
ミネラルガラス製レンズ
5 atmまたは5 barの耐水性
丈夫で付け心地の良いストラップ
ステンレススチール製ボタン
ELバックライト
ユーザーが交換可能なバッテリー

2つのタイムゾーン

12時間表示および24時間表示
自動カレンダー（2008年～2057年）

月 / 日 / 曜日表示

スイス製気圧 / 温度センサー

海面気圧・絶対気圧表示

気圧の水銀柱インチ表示およびミリバール / ヘクトパスカル表示

華氏温度表示および摂氏温度表示

今後12時間の天気予報のアイコン

フィートおよびメートルによるローカル高度表示

デジタルコンパス（AXIO maxのみ）

東 / 西および磁北の磁針偏差設定（AXIO maxのみ）

100時間対応クロノグラフ

10件の計測記録メモリー

2つのデイリーアラーム

1つの休憩アラーム

1つの水分補給アラーム

2つの高度アラーム

仕様と計測範囲

■全般

耐水性：5気圧

■高度計

計測範囲：-702メートル～+9158メートル / -2305フィート～+30,045フィート

最小表示単位：1メートル / 1フィート

■温度計

計測範囲：-10℃～+50℃ / +14° F～+122° F

最小表示単位：0.1℃ / 0.1° F

■コンパス

最小表示単位：1度

基本方位に4分割されたデジタルベゼルを回転させる

■気圧計

計測範囲：300 mbar (hPa)～1100 mbar (hPa) / 8.86 inHg～32.48 inHg

最小表示単位：1 mbar (hPa) / 0.01 inHg

■クロノグラフ

計測範囲：100時間

最小表示単位：10時間までは0.01秒、10～99時間は1.0秒

■データモード

10件の計測記録メモリー

■アラームモード

2種類の24時間式アラーム

最高99時間のカウントダウンアラーム

最高99時間のカウントダウン・リピート・アラーム

2種類の高度アラーム

(計測範囲：-702メートル～+9158メートル/-2305フィート～+30,045フィート)

警告と注意

注意: AXIOは、164フィート / 50メートル / 5 atm / 5 barの静圧まで防水対応しています。このユニットは水面での水泳や清水でのシャワー、入浴時には着用していただけますが、シュノーケリングやスキューバダイビング時には着用しないでください。

注記: 圧力定格を表すメートルやフィートの単位は、スキューバダイビング用に推奨されている深度に使用されるものと同じものではありません。

注記: 1atmまたは1barの圧力は、10メートルの深さで静止している物体に掛かる圧力に相当します (1atmまたは1barが10メートルに相当します)。

注意: ユニットに掛かる圧力は動作に応じて増加します。水中で素早い動きをすると、ユニットに掛かる圧力が急激に増加します。2.5メートルの深さまでプールに飛び込んだ場合、ユニットに掛かる圧力は0.25 atmにはなりません。

日本語

食器洗いの際や泡風呂に入浴する際には、この時計を着用しないでください。洗剤に含まれるアルカリによってゴム製の密封部が痛む可能性があります。

極端に高い温度でシャワーを浴びる際や、熱い湯船に入る際には、この時計を着用しないでください。高温や蒸気によってゴム製の密封部が痛む可能性があります。

熱い湯船から水風呂に移動することによって、時計を急激な温度変化にさらさないでください。ゴム製の密封部が収縮し、水が入り込む可能性があります。

警告と注意

時計が塩水に触れた場合は必ずきれいな水道水ですすいでください。塩分は腐食性が高く、ゴム製の密封部と時計のケースの両方を痛める可能性があります。

明るい色のプラスチック部分は、汚れや表面のこすれによって時間とともに変色します。できるだけ長く元の色を保つために、湿った布でこまめにお手入れしてください。

水中や、時計が濡れているとき、ユニットのクリーニングやすすぎを行っているときは、決してボタンを押さないでください。時計内に水が入ってしまいます。

時計のクリーニングに溶剤を使用しないでください。溶剤によって時計のプラスチック部が損なわれてしまいます。

警告：本製品は、高度が急激に変化する可能性がある、飛行、スカイダイビング、ハンググライダー、または、その他のスポーツ用の主要な高度計器として使用するためのものではありません。また、工業的な精度が必要な場合には対応していません。

特にハイキングやオリエンテーリングの前には、必ず頻繁にデジタルコンパスを補正してください。家庭用電化製品や磁場の近くで日常的に使用していると、コンパスが影響を受けます。道に迷わないためにも、オリエンテーリングの場合は必ずアナログのコンパスも携帯し、確実に複数の方法で方向を確認し、精度を保ってください。

注意：強い磁場にさらされると、コンパスユニットが機能不良を起こしたり、コンパスセンサーが永久的に破損することがあります。磁気を発生するものにユニットを近づけないようにしてください。

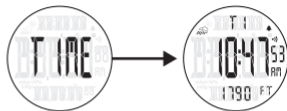
注意：決してユーザー自身でユニットの分解や点検修理を行わないでください。ユーザー自身がこれらを行った場合、保証が無効となります。

AXIOシリーズのモード

下記のモードは、画面に表示される順序に従ってリストアップされています。

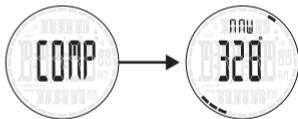
① 時間モード

- 12時間表示および24時間表示
- 2つのタイムゾーン
- 自動カレンダー（2008年～2057年）
- 月・日の日付表示
- 曜日表示
- ローカル高度表示
- 液晶表示部のコントラスト調整
- ボタンチャイムON / OFF
- 天気予報アイコン



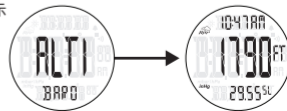
② コンパスモード (AXIO maxのみ)

- 360度の磁針方角
- 16方位の方角
- デジタル式の真北表示
- デジタルコンパスの呼び出し
- デジタルコンパスの補正
- 東／西および磁北の磁針偏差設定



③ 高度計／気圧計モード

- 1メートルまたは1フィート単位のローカル高度表示
- 天気予報アイコン
- ローカル高度／気圧計／天気予報アイコンの調整
- 時間／ローカル高度／海面レベル気圧表示
- 時間／ローカル高度／温度表示
- 時間／海面レベル気圧／絶対気圧表示



AXIOシリーズのモード

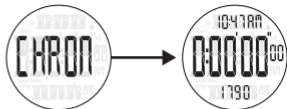
④ クロノグラフモード

100時間対応クロノグラフ

0.01秒の最小表示単位 (はじめの10時間まで)

時間表示

ローカル高度表示



⑤ データモード

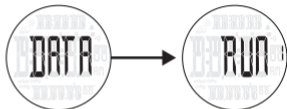
10件の計測記録メモリー

開始高度記録

累積高度記録

最高高度記録

全運動時間記録



⑥ アラームモード

デイリーアラーム1

デイリーアラーム2

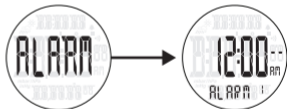
休憩アラーム

水分補給アラーム

高度アラーム1

高度アラーム2

アラームのON/OFF



各ボタンの機能

① ADJUST ボタン

- このボタンを3秒間押し続けるとモード設定画面になります。(但し、クロノグラフモードおよびデータモードを除く)
- このボタンを押すと、いつでも設定を終了することができます。
- このボタンを押すと、データを保存せずにクロノグラフをリセットすることができます。
- このボタンを3秒間押し続けると、データモードの最後の計測記録を消去することができます。
- このボタンを6秒間押し続けると、データモードのすべての計測記録を消去することができます。

② MODE ボタン

- このボタンを押すたびにモードが切り替わります。
- 各モードでの調整中にこのボタンを押すと、次の設定に移動します。

③ START / + (RECALL / +) ボタン

注記: START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

- 時間モードでこのボタンを押すと、もうひとつのタイムゾーンが表示されます。
- 時間モードでこのボタンを3秒間押し続けると、もうひとつのタイムゾーンの表示に切り替わります。
- 高度計 / 気圧計モードでこのボタンを押すと、表示設定している単位とは異なる単位で表示されます。
- 高度計 / 気圧計モードでこのボタンを3秒間押し続けると、もうひとつの単位での表示に切り替わります。
- データモードでこのボタンを押すと、次のデータポイントが表示されます。
- このボタンを押すたびに設定値が増加します。
- コンパスモードでこのボタンを押すと、コンパスが呼び出されます。

④ STOP / - (VIEW / -) ボタン

注記: STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

- 時間モードや高度計 / 気圧計モードでこのボタンを押すと、表示内容が切り替わります。
- クロノグラフモードでこのボタンを3秒間押し続けると、計測記録が保存されます。
- データモードでこのボタンを押すと、計測記録のデータを選択することができます。
- このボタンを押すたびに設定値が減少します。
- コンパスモードでこのボタンを押すと、コンパスが呼び出されます。

各ボタンの機能



AXIO / AXIO MINI



AXIO MAX

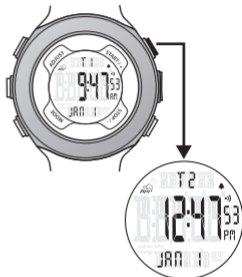
時間モードの設定

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

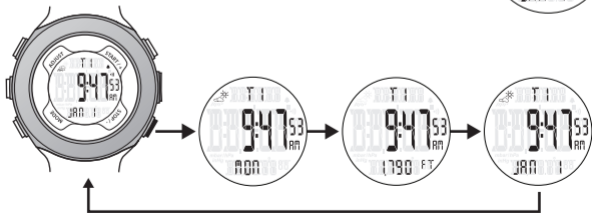
タイムゾーンの選択

- 1.初期設定の表示はタイムゾーン1 (T1) です。
- 2.START / + ボタンを押すとタイムゾーン2 (T2) が表示されます。
- 3.START / + ボタンを3秒間押し続けると、タイムゾーン2 (T2) に切り替わります。



時間モードの表示内容の変更

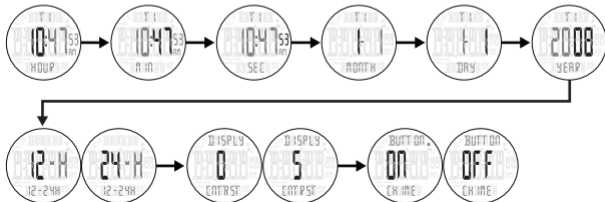
- 1.初期設定では画面下部に日付が表示されます。
- 2.STOP/-ボタンを押すと曜日表示に、再度STOP/-ボタンを押すとローカル高度表示に表示内容が変わります。



時間モードの設定

時間の設定

1. START / +ボタンを用いて、希望するタイムゾーンを選択してください。
2. 時間の設定を開始するため、ADJUSTボタンを3秒間押し続けてください。
3. 最初に時の設定を行います。START / + とSTOP / - ボタンを用いて時を変更してください。
4. MODEボタンを押して、分の設定に移ってください。
5. 再びSTART / + とSTOP / - ボタンを用いて分を変更してください。
6. MODEボタンを押して、秒の設定に移ってください。
7. START / + またはSTOP / - ボタンを押すと、秒表示がゼロにリセットされます。
8. 同様の手順で、月、日、年、そして、12時間/24時間表示の設定に移ってください。
9. 次に表示のコントラストを設定します。
10. START / + またはSTOP / - ボタンを押して、表示のコントラストを強く、または、弱くしてください。
11. 最後にボタンチャイムのONまたはOFFを設定します。ボタンチャイムをONにすると、ボタンを押すたびにピープ音が鳴ります。また、ONにすると、時間モードやアラームモードの画面にボタンチャイムのアイコンも表示されます。
12. ADJUSTボタンを押して設定を終了すると、時間モードの画面に戻ります。



コンパスモードの表示 (AXIO maxのみ)

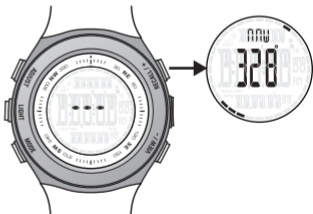
コンパスモードの見方

1. 表示画面外側の点4つは真北を指しています。
点1つが磁針の北点を表します。
点3つが磁針の南側を表します。
2. 下記の16方位のいずれかの方位が画面上部に表示されます。
N - S - E - W - NE - NW - SW - SE
NNW - NNE - SSW - SSE
ESE - ENE - WNE - WNW
3. コンパスの測定値が360度表示で画面中央に表示されます。



コンパスの呼び出し

1. コンパスモードで25秒経過すると中央にダッシュ記号が3つ表示されます。
2. バッテリーを節約するため、コンパスは25秒後に自動的に機能を終了します。
3. コンパスセンサーを再起動させたい場合は、RECALL / +またはVIEW / - ボタンを押してください。



コンパスモードの補正 (AXIO maxのみ)

家庭用電化製品や磁場の近くで日常的に使用すると、コンパスの精度が影響を受けます。道に迷わないためにも、特にハイキングやオリエンテーリングの前には、必ず頻繁にデジタルコンパスを補正してください。

注記: オリエンテーリングの場合は必ずアナログのコンパスも携帯し、確実に複数の方法で方向を確認し、精度を保ってください。

注記: コンパスの補正を行う前に、下記の説明を最後まで読んでください。

補正は正確に行う必要があります。正確に行われない場合、うまく補正することができません。正確な補正を行うためには、最初に全部の手順を読んでください。

コンパスの補正

1. 補正を開始するため、ADJUSTボタンを3秒間押し続けてください。
2. 胸の高さで直角の位置に時計が来るように、時計の本体をしっかり持ちます。
3. RECALL / + ボタンを押して補正を開始します。
4. 時計を水平に保ったまま、文字盤をゆっくりと時計回りに回転させます。
5. 時計の文字盤は、2回、回転させなければなりません。
6. 1回転あたり約12~15秒の速さで回転させてください。
7. 2回転させたところで、RECALL / + ボタンを押して補正を終了します。
8. 正しく補正されなかった場合はCALIB FAILと表示され、自動的に時計が再補正を開始します。
この場合、手順2から手順7までを再度行ってください。
9. 補正が完了するとDONE CALIBと画面に表示されます。引き続き磁針偏差の設定を行う場合は、MODEボタンを押してください。偏差の設定については、次ページを参照してください。
10. 補正を終了してコンパスモードに戻るには、ADJUSTボタンを押してください。

コンパスモードの設定 (AXIO maxのみ)

磁針偏差とは？

磁気コンパスは地上磁気の北極を指すため、場所によっては真北からずれる場合があります。このずれは、磁針偏差を調整して補正することができます。各地域の磁針偏差については、地形図をご覧ください。偏差は、時間や距離によって変化することがあります。偏差設定の情報源が最新のものであることを確認してください。各地域の最新の磁針偏差計測値を確認するには、次のウェブサイトをお勧めします。

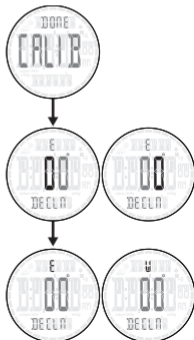
http://www.gsc.nrcan.gc.ca/geomag/field/mdcalc_e.php

<http://www.ngdc.noaa.gov/seg/geomag/jsp/Declination.jsp>

注記：偏差の参照先がない場合は、偏差設定を初期設定（ゼロ）のままにしておいてください。

偏差の設定

1. 補正を開始するため、ADJUSTボタンを3秒間押し続けてください。
2. 補正手順を実施するか、MODEボタンを押して補正を省略して、偏差設定に入ってください。
3. RECALL / + ボタンまたはVIEW / - ボタンを押して、偏差設定の1桁目の値を変更してください。
4. MODEボタンを押して、2桁目に移ってください。
5. RECALL / + ボタンまたはVIEW / - ボタンを押して、値を変更してください。
6. MODEボタンを押して、E（東）またはW（西）の偏差設定に移ってください。
7. RECALL / + ボタンまたはVIEW / - ボタンを押して、E（東）またはW（西）の偏差を選択してください。
8. 補正を終了してコンパスモードに戻るには、ADJUSTボタンを押してください。



高度／温度／気圧の表示画面

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

高度計／気圧計モードの表示画面

1. 選択されているタイムゾーンの時間が画面上部に常に表示されます。
2. 初期設定では、時間／ローカル高度／海面レベル気圧が表示されます。
3. STOPボタンを押すと表示画面が時間／ローカル高度／温度表示に、再度STOPボタンを押すと時間／海面レベル気圧／絶対気圧表示に変わります。
4. 時間／海面レベル気圧／絶対気圧表示画面にのみ、天気予報アイコンが表示されます。



高度／温度／気圧の単位

高度、温度、気圧の単位の設定

高度、温度、気圧の単位の変更は、高度計／気圧計モードの特定の画面でのみ行うことができます。

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

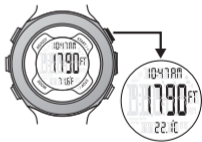
時間／ローカル高度／海面レベル気圧表示画面

- 1.この画面では、ローカル高度の単位のみを設定することができます。
- 2.初期設定の単位はフィート (US仕様) です。
- 3.START / + ボタンを押すと、メートル法でローカル高度を表示します。
- 4.START / + ボタンを3秒間押し続けると、メートル表示に切り替わります。



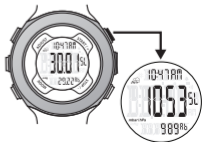
時間／ローカル高度／温度表示画面

- 1.この画面では、温度の単位のみを設定することができます。
- 2.初期設定の単位は華氏温度です。
- 3.START / + ボタンを押すと、摂氏温度で温度を表示します。
- 4.START / + ボタンを3秒間押し続けると、摂氏温度表示に切り替わります。



時間／海面レベル気圧／絶対気圧表示画面

- 1.この画面では、気圧の単位のみを設定することができます。
- 2.初期設定の単位は水銀柱インチ (inHg) です。
- 3.START / + ボタンを押すと、ミリバール／ヘクトパスカル (mbar/hPa) で気圧を表示します。
- 4.START / + ボタンを3秒間押し続けると、mbar/hPaでの表示に切り替わります。



高度計／気圧計の単位

注記：高度計／気圧計モードを調整するときは、必ず正確な情報源を利用してください。いずれかの単位について不正確または実際の計測値と著しくかけ離れた設定を行った場合、このモードのすべての測定値が非常に不確かなものになります。

注記：航空機や空調中、または、暖房中の部屋のような与圧環境では、決して高度計／気圧計の調整を行わないでください。

警告：高速移動中の車内や、スキーで滑降しているときは、決して高度計／気圧計の調整を行わないでください。測定値が非常に不正確なものになるだけでなく、事故につながる可能性があります。

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

高度および気圧計測値の調整

1. ADJUSTボタンを3秒間押し続けて、ローカル高度調整画面を表示させてください。
2. START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、一桁ずつ正確な情報源の値に合わせてください。
3. MODEボタンを押して、海面レベル気圧の調整画面に移ってください。
4. START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、一桁ずつ正確な情報源の値に合わせてください。
5. MODEボタンを押して、絶対気圧の調整画面に移ってください。
6. START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、一桁ずつ正確な情報源の値に合わせてください。
7. MODEボタンを押して、今後12時間の天気予報のアイコンを分かっている天気予報に合わせて設定してください。START / +またはSTOP / -ボタンを押すとアイコンの変更ができます。
8. ADJUSTボタンを押すと、調整を終了して高度計／気圧計モードに戻ります。

今後12時間の天気予報アイコン

天気予報アイコンは、12時間ごとに自動的に最新情報に変更されます。

天気予報アイコンは、下記のモードの画面に表示されます。

時間モード：日付表示画面および曜日表示画面

高度計／気圧計モード：時間／海面レベル気圧／絶対気圧表示画面

注記：時計に高度が表示されているときは、天気予報を利用することはできません。正確な予報を知るには、高度が表示されない画面に変更する必要があります。

注記：高度を表示させた状態の時間モードまたは高度計／気圧計モードの時計を日常ベースで使用する場合、高度が表示されない画面に変更して、天気予報のプロセスを開始させる必要があります。このプロセスには、12時間かかります。

注記：移動中の車や与圧された部屋の中で日常的に使用していると、予報が影響を受けます。天気予報は長期的なアウトドアでの使用に対応しています。

日本語

天気予報アイコン



クログラフモード

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

クログラフモードの表示画面

- 1.現在の時刻が画面上部に表示されます。
- 2.総時間が画面中央に表示されます。
- 3.ローカル高度が画面下部に表示されます。

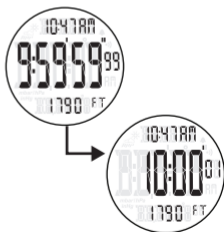


クログラフの簡単な操作

- 1.START / +ボタンを押すと、総運動時間の記録を開始します。
- 2.STOP / -ボタンを押すと、総時間の記録を一時的に停止します。
- 3.再びSTART / +ボタンを押すと、記録を再開します。
または、
- 4.2の操作の後、STOP / -ボタンを3秒間押し続けると記録はデータモードに保存されます。クログラフは次の計測を記録する状態になります。計測記録は、RUN 1、RUN 2、RUN 3、…としてデータモードに保存されます。
または、
- 5.2の操作の後、ADJUSTボタンを3秒間押し続けると、データモードに記録を保存せずにクログラフをリセットすることができます。

注記：クログラフは、最高10件の計測記録またはハイキング記録をデータモードに記録することができます。

注記：クログラフの最小表示単位は、9:59' 59" 99を過ぎると変更されます。10時間以降は、1/100秒は画面に表示されません。



データモード

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

データモードに保存される情報

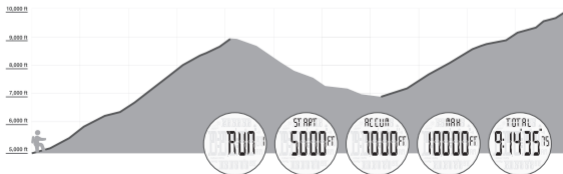
1. 運動開始時のローカル高度
2. 運動中に得られた総累積高度。グラフは、7000フィートまでの総累積高度を表示することができます。
3. 運動中に到達した最高高度
4. 運動全体の総時間

データモードの操作

1. データモードを表示させた時点で、最後に保存された計測記録の詳細が自動的に上記のリストの順にスクロール表示されます。
2. STOP / -ボタンを押すと、その前に保存された計測記録の詳細に変わります。
3. START / +ボタンを押すと、計測記録の詳細を手動で順番にスクロール表示させることができます。どのボタンも押さない時間が3秒間続くと、再び詳細が自動的にスクロール表示されます。

データモードに保存された記録の消去

1. ADJUSTボタンを3秒間押し続けると、最後に保存された運動記録が消去されます。
2. ADJUSTボタンを6秒間押し続けると、保存された記録が全部消去されます。



アラームの説明

アラームモードでは、STOP / - ボタンを押して、次の順序で複数のアラームを切り替えて表示させることができます：デイリーアラーム1、デイリーアラーム2、休憩アラーム、水分補給アラーム、高度アラーム1、高度アラーム2

デイリーアラーム1およびデイリーアラーム2

1. 設定時刻にアラームが鳴ります。
2. アラームは20秒間連続して鳴った後、40秒間停止します。
3. アラームを途中で停止しなければアラームはこのサイクルを3回繰り返します。
4. アラームが鳴るのを止めるには、20秒間のサイクル中にいずれかのボタンを押してください。
5. デイリーアラームが鳴っている間は、画面の時刻表示が点滅します。

休憩アラーム

1. ユーザーがこのカウントダウン・タイマーの時分設定を行います。
2. アラームは20秒間連続して鳴った後、40秒間停止します。
3. アラームを途中で停止しなければアラームはこのサイクルを3回繰り返します。
4. アラームが鳴るのを止めるには、20秒間のサイクル中にいずれかのボタンを押してください。
5. 休憩アラームが鳴っている間は、画面の時刻表示が点滅します。
6. 休憩アラームは、アラームのサイクルの終了時や、ユーザーがサイクル中にいずれかのボタンを押した際に自動的に切れます。

水分補給アラーム

1. ユーザーがこの繰り返しのカウントダウン・タイマーの時分設定を行います。
2. アラームは20秒間連続して鳴った後、タイマーをリセットします。
3. アラームが鳴るのを止めるには、20秒間のサイクル中にいずれかのボタンを押してください。

注記：水分補給アラームを完全に停止するには、アラームモードをオフに設定してください。

4. 水分補給アラームが鳴っている間は、画面の水分補給表示が点滅します。
5. 水分補給アラームは、アラームモードでオフに設定されるまで、設定された時間が経過するたびに繰り返し警告音を鳴らします。

アラームの説明

高度アラーム1および高度アラーム2

- 1.アラームを鳴らす高度をユーザーが設定します。
- 2.設定された高度に達すると、アラームが20秒間連続して鳴ります。
- 3.アラームが鳴るのを止めるには、20秒間のサイクル中にいずれかのボタンを押してください。
- 4.高度アラームが鳴っている間は、画面の高度計測値が点滅します。
- 5.アラームモードで高度アラームをオフに設定しないまま、ユーザーが設定高度を超えてハイキングを続けた場合、ユーザーが設定高度に戻ってきたときに再びアラームが鳴ります。

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

デイリーアラームの設定

- 1.STOP / -ボタンを用いて、デイリーアラーム1またはデイリーアラーム2のどちらかを選択してください。
- 2.時の設定の調整を開始するため、ADJUSTボタンを3秒間押し続けてください。
- 3.START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、時を設定してください。
- 4.MODEボタンを押して、分の設定に移ってください。
- 5.START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、分を設定してください。
- 6.ADJUSTボタンを押して設定を終了します。設定を終了するとすぐにデイリーアラームは自動的にオンとなります。

休憩アラームの設定

- 1.STOP / -ボタンを用いて休憩アラームを選択してください。
- 2.時の設定の調整を開始するため、ADJUSTボタンを3秒間押し続けてください。
- 3.START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、時を設定してください。
- 4.MODEボタンを押して、分の設定に移ってください。
- 5.START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、分を設定してください。
- 6.ADJUSTボタンを押して設定を終了します。設定を終了するとすぐに休憩アラームは自動的にオンとなり、カウントダウンを開始します。

アラームの設定

注記：START / +は、AXIO maxではRECALL / +と表示されています。

注記：STOP / -は、AXIO maxではVIEW / -と表示されています。

水分補給アラームの設定

- 1.STOP / -ボタンを用いて水分補給アラームを選択してください。
- 2.時の設定の調整を開始するため、ADJUSTボタンを3秒間押し続けてください。
- 3.START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、時を設定してください。
- 4.MODEボタンを押して、分の設定に移ってください。
- 5.START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、分を設定してください。
- 6.ADJUSTボタンを押して設定を終了します。設定を終了するとすぐに水分補給アラームは自動的にオンとなり、カウントダウンを開始します。

高度アラームの設定

- 1.STOP / -ボタンを用いて、高度アラーム1または高度アラーム2のどちらかを選択してください。
- 2.高度設定の調整を開始するため、ADJUSTボタンを3秒間押し続けてください。
- 3.START / +またはSTOP / -ボタンを押して値を増減させ、希望する高度を一桁ずつ設定してください。
- 4.ADJUSTボタンを押して設定を終了します。設定を終了するとすぐに高度アラームは自動的にオンとなります。

アラームのON/OFF

- 1.STOP / -ボタンを用いて希望するアラームを選択してください。
- 2.START / +ボタンを押すと、アラームのON/OFFが切り替わります。
いずれかのアラームがONになっている場合、時間モード、高度計／気圧計モード、クロノグラフモード、データモード、そして、アラームモードでは、そのアラームのアイコンが表示されます。

バッテリーに関する情報とバッテリーの交換

AXIO mini用バッテリー：CR1632 3V リチウム

AXIO用バッテリー：CR2032 3V リチウム

AXIO max用バッテリー：CR2032 3V リチウム

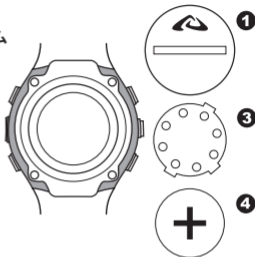
AXIO miniおよびAXIO用バッテリーの寿命：

約2年～2.5年、高度計およびバックライトの使用頻度によって異なります。

AXIO max用バッテリーの寿命：

約1.5年～2年、高度計、バックライト、および、デジタルコンパスの使用頻度によって異なります。

注記：高度計、バックライトおよびコンパスを頻繁に使用すると、上記に示すバッテリーの寿命が著しく減少します。



バッテリーの交換

1. バッテリーハッチのみぞにコインを差し込み、反時計方向に回転させてください。この際、コイン以外は使用しないでください。
2. ゴム製のO-リングを紛失しないように注意してください。また、O-リングが異物に触れないように注意してください。
3. プラスチックのバッテリーカバーを反時計方向に回し、注意深く取り外してください。
4. 古いバッテリーを取り出し、新しいバッテリーと交換します。プラス (+) 記号が上面に見えるようにバッテリーを取り付けてください。
5. プラスチックのバッテリーカバーを元の位置に戻します。
6. ゴム製のO-リングが正しく所定の位置にあることを確認してから、バッテリーハッチを元の位置に戻してください。

注記：画面に何も表示されない場合や、高度計やコンパスが正確でない場合、また、バックライトもしくは消えかけている場合は、バッテリーが消耗している徴候です。

トラブルシューティング

このユニットは、高感度で精巧な機器です。適切なお手入れがなされていれば精度を保ったまま長期にわたって使用していただけます。ときには不具合が生じる場合もありますが、こうした製品の不具合と思えるものの多くがバッテリー切れ、または、バッテリーの消耗に関連した不具合です。

本ユニットに入っている新しいバッテリーの推定寿命は約2～2.5年ですが、コンパスや高度計、または、ELバックライトシステムの使用頻度が高い場合は、それに応じて寿命が短くなります。ユニットの機能に関連する問題が起きた場合、特にバッテリー交換から半年以上経過している場合は、はじめに新しいバッテリーと交換することをお勧めします。

注意:この時計で使用するリチウムバッテリーは保存方法に大きく影響されます。新しく購入したバッテリーが購入前に既に切れている場合や消耗している場合がよくあります。店頭にあるバッテリーがすべて正常であると判断しないでください。バッテリーを新しいものに交換しても問題が解決しない場合、別の販売店で購入した別のバッテリーで確認してみてください。

本ユニットの時計ユニットのバッテリーが消耗している、もしくは不具合を起こしている場合、次のような症状が現れます。

- 1.画面表示が薄くなっている、または、何も表示されない。
- 2.ELバックライトシステムが作動しているときに何も表示されなくなり、ELシステムの電源をオフにしたときに元に戻る。
- 3.高度計またはコンパスシステムの測定値が不正確である。

コンパスは磁気を使用していますので、使用場所にある電磁放射源 (EMI) の影響を受けます。電子機器のそば、車内、ホームセキュリティシステムの近く、その他電磁放射源 (EMI) の近くではコンパスを使用しないでください。

本ユニットは、さまざまな環境で幅広く使用できる表示機能を備えています。しかし、ユニットを極端に気温の低い (32° Fまたは1°C未満) 場所で使用した場合、表示機能が通常より遅くなることがあります。また、極端に熱い、もしくは、寒い温度にさらされると表示画面が暗くなる場合があります。表示は、温度が通常範囲に戻ると元に戻ります。